



★ 上高井戸大地の郷みたけ (小規模多機能型居宅介護) ★



「通い」「訪問」「泊まり」を必要性に応じて組合せ援助していきます
他のサービスにはできない柔軟な対応で在宅支援を行います。 ～利用者様と共に作っています～

～みんなでいなり寿司作り～

今、在宅サービスで
困難さを感じておられませんか？

- ★「通い」「訪問」「泊まり」では料理や洗濯・買物・着替え・歯磨き・掃除等々がご自分で行えるよう専門性のある声かけにて時間をかけて援助していきます。認知症のある方などにとって最大の日常生活リハビリになります。
- ★料金は毎月定額です(介護度により金額が変わります)
「通い」「訪問」「泊まり」の回数により金額は一切変わりません。
現在ケアマネージャーがおられる方は小規模多機能居宅介護のケアマネージャーに変更になります。
- ★現在在宅サービスを利用されている方で柔軟に対応できず在宅生活に困難をきたしている方、不安を抱えながら入所等待たれている方が少しでも在宅生活継続が可能になるよう柔軟に援助していきます。
それが小規模多機能居宅介護の援助の考え方であります。



ご心配ごと等ございましたら遠慮なくご連絡ください。
即ご相談させていただきます。

上高井戸大地の郷みたけ小規模多機能型居宅介護

管理者 久保山
介護支援専門員 藤本
東京都杉並区上高井戸2丁目12-1
TEL03-3334-6655
FAX03-5336-6560

※サービス提供時間の規定はなく「通い」「訪問」ともにご利用者に合わせた時間を提供していきます。

※長時間の「通い」が合わない方は昼食のみ、入浴のみ等の短時間での提供が可能です。

※「通い」の送迎前後に必要性があればそのまま「訪問」に繋がられます。

※「訪問」時、提供時間に規制はなく、短時間での提供が可能です。
安否確認や服薬確認等その方に合った短時間サービスも援助しています。

※予約なしでの急なお泊りも電話一本で可能です。
(部屋の空き状況により別途相談あり)

※お仕事されているご家族様の必要性に応じて急な「通い」「訪問」も対応いたします。

※同じ職員が「通い」「訪問」「泊まり」時援助いたしますので、顔なじみの関係となり、ご利用者の方に安心してご利用いただけます。

※同法人にて保育園が同敷地内にあり、園庭で遊ぶ園児との自然なふれあいを大切にしています。

※365日対応いたします。
(オンコール体制あり)

上高井戸大地の郷みたけ(小規模多機能型居宅介護)
ただ規定のサービスを提供するだけではありません！

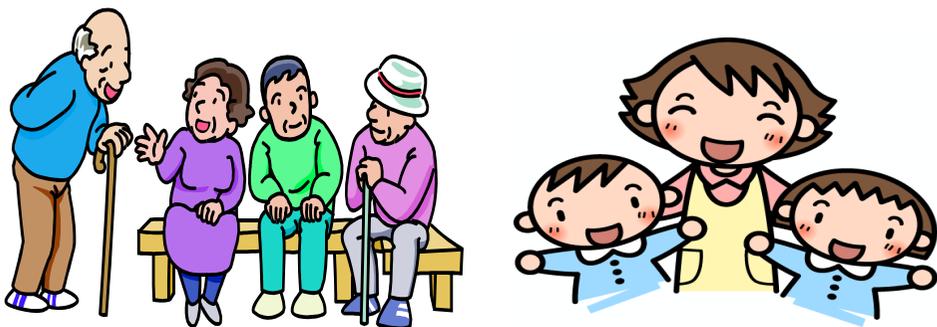
★みたけを利用する大きなメリット★

①認知症高齢者グループホームが併設されていること

・当事業所には認知症高齢者グループホーム3ユニット(定員27名)が併設されています。今後認知症が進行して在宅生活が困難となった場合においても、小規模多機能型居宅介護を利用しながら、入居の相談も行えます。ご本人にとっても環境が大きく変化せず、安心して今までの生活を継続することができます。

②認可保育所が併設されていること

・当事業所には102名定員の認可保育園が併設されています。こどもとふれあうことにより認知症高齢者がいきいきとした表情をされている場面を何度も見かけています。効果は言うまでもありません。建物のちょうど真ん中に園庭があり、外で遊ぶこども達と日常的に交流を行うことができます。



お困りごと等ございましたら遠慮なくご連絡ください。
ご相談承ります！！

上高井戸大地の郷みたけ(小規模多機能型居宅介護)

管理者 久保山 慎之介

介護支援専門員 藤本 千晶

東京都杉並区上高井戸2丁目12-1

TEL03-3334-6655

FAX03-5336-6560

～上高井戸大地の郷みたけ～ (小規模多型機能居宅介護)

このような方も援助させていただいています。

認知症になりどのような状態になろうとも私たち援助者は決してあきらめません

事例

女性 介護2 レビー小体型認知症

発症後急速に症状が進行

2年間で周辺症状が進行、徘徊、無表情、発語困難、日常生活困難等により全介助状態となる。

通所介護、訪問を利用されていたが、在宅生活に困難をきたされる。

小規模多機能居宅介護へ移行



提供サービス:「通い」月～金 AM9:00～PM18:00

当初家事、着替え等々日常生活動作が全介助と言われていたが、今まで完璧に家事を担っていたことや話しかけると表情に変化があること、手や足が丈夫であることにより下記の日常生活リハビリの援助を開始する。



日々の小さな援助の積重ねが大きなりハビリとなっていく・・・そんな支援を目指すサービスが小規模多機能型居宅介護です

声かけにて調理の工程に携わってもらう。

野菜の皮をむく、切る、へらで炒める等々声かけにより時間をかけ行ってもらおう(当初包丁を持つことを忘れがちでない動作から始まる。

↓
食前、食後のテーブル拭き、食器の準備、食器洗いを声かけにて行ってもらおう。4日目には職員が動き出すと自ら台所へ行く動作がみられる。

↓
2週間後には切る、炒める、洗う等々一連の調理工程の役割を担えるようになる。

4か月後の現在は野菜のみじん切り等出来るようになり、お皿を自ら下げ洗う行動が自然と出る様子が見られている。

洗濯ものを干しましよと声かけしご自分でハンガーに干してもらう。(洗濯ものばさみを使う動作が難しい様子であるが出来るまで待つ援助、出来るように声かけ支持を心がけた。

↓
初日より時間を要すれば干すことが可能であることがわかる。

「通い」時の入浴後洗濯をし、外の園庭にて干すことが習慣となる。

4か月後の現在は来所後洗濯物を見ると自ら畳まれる、濡れた洗濯物を見るとハンガーの所へ行かれ干す行動に繋がっている。また開いている網戸を閉めたり、夕方になるとカーテンを閉めに行く行動が見られている。

同敷地内の同法人保育園の園児たちとのふれあいを初めて2日目、窓越しで遊んでいる園児を見て自分から園庭に出ていき幼児に向かって手を広げ笑顔に向けた瞬間。その日から無表情化していたお顔に変化が見られ始める。